

基礎となったコレクションも彼が収集したものですし、ベラスケスを宮廷画家として重用したことで知られています。この国王の代わりにスペインを切り盛りしたのが、寵臣と呼ばれる最高執行責任者の地位を与えられたオリバーレス伯爵でした。伯爵は相当に有能な人物でしたが、もともとカスティリヤ王国、アラゴン王国、ナヴァラ王国、バルセロナ伯領など中世の領邦国家の寄り合い所帯であったスペインの複雑怪奇な内情に加え、ポルトガル王国やネーデルラント、ミラノ公国、ナポリ王国、新大陸の領土(ヌエバ・エスパーニャ)など世界各地に散らばる属領の心配もしなければいけませんから、その苦労は並大抵のものではありませんでした。八十年戦争に加えて神聖ローマ帝国(ドイツ)を舞台とした三十年戦争にも参戦した結果、新大陸から運ばれる膨大な富によって支えられていたスペインの国家財政は幾度も破産し、スペインの国際的地位は低下していきます。1635年には西仏戦争も始まり、ロクロワの戦いでスペイン軍が壊滅すると、伯爵は責任を問われて更迭されました。

花開いたスペインの文学と絵画

しかしながらこの時代のスペインは、文化の面ではヨーロッパに冠たる地位を占めた豊穡の時代でもありました。文芸ではロペ・デ・ベガ、カルデロン・デ・ラ・バルカ、テイルソ・デ・モリーナらの劇作家たち、『ドン・キホーテ』を著した小説家のセルバンテス、そして本作にも登場する詩人フランシスコ・デ・ケベードなどが活躍していましたし、絵画の分野ではエル・グレコ、ベラスケス、スルバラン、ムリーリョ、ルーベンスなどがスペイン本国あるいは属領において、バロック絵画の精髓とも言える数々の傑作を描きました。加えてファッションの面でも、流行の最先端はスペインにあると考えられていました。16世紀半ばから17世紀半ばにかけての100年あまりが、今もスペイン人たちに「黄金の世紀(Sigro de oro)」と呼ばれる所以です。「黄金の世紀」の前半、スペインは世界で最も広く(その上層階級に限れば)最も富み栄えた国家であり、また「黄金の世紀」の後半、スペインで生み出された文化商品の品質はヨーロッパの頂点にあったのですから。

- 1568年 オラニエ公ウィレム軍がスペイン領ネーデルラントに侵攻。八十年戦争始まる。
- 1588年 アルマダの海戦。
- 1596年 オランダ独立が英仏により承認される。
- 1609年 スペインとオランダの間に12年間の休戦協定結ばれる。
- 1621年 フェリペ4世即位。休戦期間が終了し、スペインとオランダ軍の戦闘が再開される。
- 1625年 スペイン軍が1年間の包囲戦の末にブレダ攻を果たす。
- 1635年 ベラスケスが「ブレダの開城」を完成させる。西戦争開戦。
- 1640年 カザーレ・モンフェラートの戦いとトリノ包囲戦。スペイン軍敗北。カタルーニャとポルトガルで乱が勃発する。
- 1643年 ロクロワの戦いでスペイン軍大敗。オリバーレス伯爵更迭される。
- 1648年 ヴェストファーレン条約が締結され、八十年戦争が終わる。
- 1659年 ピレネー条約が締結され、西仏戦争が終わる。ペイン、ルシヨン地方をフランスに割譲。